

としまち研会報 第117号

おいらのまち

発行 NPO都市住宅とまちづくり研究会 理事会

4年ぶりの神田祭

2020年初めからのコロナ禍により2年毎の神田祭は中止されていましたが、今年は例大祭が4年ぶりに執り行われました。としまち研のある東松下町々会も柳森神社の決断で5月12日～14日に実施となりました。町会では町会長を中心に何度も祭礼実行委員会を開催、他の氏子町会とも打ち合わせを重ね準備を進めました。としまち研の会議室が委員会の会場や準備の場として活躍し、私たちも一生懸命に取り組みました。

12日（金）は宵宮（前夜祭）で、頭（かしら）や町会員の皆さんで午前中に神酒所（拠点）を組み立て、GW中に町内の大きな集合住宅の1階共用部と隣の区営・高齢者住宅1階の地域交流スペースに展示されていた大神輿・子供神輿・山車（山車は昨年多くの町会員の寄付で修理）を神酒所前に運び出し、夕方からは久しぶりに呑みながらの歓談でした。

13日（土）は午前中に柳森神社の神職による神輿への御霊入れが行われ、お昼に神酒所前を出発して柳森神社へ。神社前で式典が行われ、他の町会と連合渡御、もう一町会が合流し再び神社へ向かい宮入しました。

14日（日）は10時に柳森神社前で恒例の町内の祭礼参加者全員で記念写真撮影。その後旧今川中校庭に向かい、神田駅東連合町会の式典に参加。当町会の神輿は連合渡御の先頭で出発、神田駅東連合町会と東松下町の高張りの先導で中央通りに出て神田駅の高架下をくぐり、例年通り神田平成通りで右折し、連合渡御から離れ町内の神酒所に戻りました。昼食後は町内を巡行し、神輿が千桜通りに戻ってくると女性や高齢者も一緒に担ぎ、神酒所に神輿を刺して（高く持ち上げ）終了しました。

4年ぶりの街祭礼でしたが、最近としまち研会員になっていただいた伊藤さんは神輿の担ぎ手として大活躍されました。2年後も皆さんにお声を掛けますのでぜひご参加ください。「としまち研」と名入れをしてある半纏もありますので、一緒に神輿担ぎをお願いします。（としまち研理事長 杉山 昇）



お祭りの様子

おいらのひとりごと

としまち研会員によるリレー形式のエッセイです。

「石垣島トライアスロン参戦記」 菅野 良寛

4月9日（日）、日本のトライアスロンシーズンが石垣島でその火ぶたを切りました。私のトライアスロン暦は約10年ですが、ここ3年はコロナ禍ということもあり久しぶりの参加でした。

総距離51.5km（スイム1.5km・バイク40km・ラン10km）、午前8時のスタート合図とともにいざ海に猛ダッシュ。始めのスイムは自分のペースと体調を十分把握することに集中しながら進みました。次のバイクは山岳地帯が多く風も強かったのですが1時間ほどで無事完走。最後のランでは自分体力の限界と練習不足を感じながらも、途中何度も頭から水をかぶり頑張り抜きました。大会記録（エイジクラス総合）は1200人中367位／50-54男子54位／3時間04分51秒。

今大会は仲間たちとの同窓会のような盛り上がり笑顔が最高でした。沿道からの家族・大会関係者の声援や、競技者同士の声援からは100%以上の力を引きだしてもらえたようです。また、石垣島の海中や風景の美しさは大切な思い出となりました。

今後の目標は上位10%入りを目標に、練習量の確保や戦略を見直しながらかる成長を目指していきたいと思ひます。



*次号の「ひとりごと」は江嶋 裕二さんです。お楽しみに。

一木会のご案内（原則、毎月第一木曜日に行う勉強会・交流会です）

☆第330回一木会（2023.5.11）

飯塚 順子(いづか じゅんこ)氏（弁護士）にテーマ「便利になった！不動産の有効活用に関する最近の法改正」でお話し頂きました。令和3年の民法及び関連法の改正により今年4月に施行されたこの改正法で新しく何ができるようになったのか、どのような手続きが必要かなど、実例と共に解りやすく解説して下さいました。

会場・リモート共に活発な質問が飛び交いましたが、その一つ一つに対し丁寧にお答え下さった飯塚氏には感謝です。

後の懇親会でも質問が続き、時間が足りないほどの盛況でした。



☆第331回一木会（2023.6.1）

野田 明宏(のだ あきひろ)氏（住まい・まちづくりデザインワークス代表）に、テーマ「木造でつくる小規模な耐火建築～密集地3階建て住宅の仕様と実例～」でお話し頂きました。現在、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた森林資源の循環利用が国レベルで進んでいます。氏の木密地域に耐火性能を確保しながら、暮らしの心地よさや路地景観保持などを追求した木構造3階建て建築の実例に感動でした。また、構造詳細の大変さに皆さん納得。後の懇親会でもこの興奮は冷めやらず状態でした。



今後の一木会予定（会場＋オンライン）

☆ 2023年7月（7月6日）【第332回一木会】

テーマ：「たかが塩だが、されど塩～知ってるようで知らない“塩”を語る～」

ゲスト：加納 裕 (かのう ひろし) 氏（元・海の精(株)で企画・商品開発・広報を担当）

☆ 2023年8月（8月3日）【第333回一木会】

テーマ：「私からコモンを育てる賃貸住宅」

ゲスト：沼野井 諭 (ぬまのいさとし) 氏（建築家・NUMANOI inc.代表・としまち研理事）



懇親会の様子

第23回通常総会を開催しました 令和5年5月25日（木）18時30分～

新型コロナウイルスによる行動制限解除やマスク着用が任意となったことで、コロナ以前の日常が戻ってきて、お互いの顔をみながら会話できる社会状況となってきました。

としまち研も、実際に会場にお越しいただく人数制限をなくして、オンラインシステムも併用しながら、今回は20名の方にご参加いただきました。

総会のあいさつでは、杉山理事長からとしまち研のスローガンが述べられ、日常が戻り、人と人の対面交流が可能になった今こそ、とても大切な言葉と感じました。

本題の議案は、各部長や事務局より、昨年度の活動報告や今年度の活動計画、としまち研全体としての運営状況・課題・今後の活動方針等が報告されました。本会における6つの議案が全て無事承認され、恒例の集合写真を撮影した後、3年ぶりにとしまち研会議室にて懇親会も実施しました。少人数でしたが、マスクを外して飲食しながら何気ない会話や近況のお話し等ができ、とても和やかな会となりました。

物価の値上げが続き、建築コストも上昇し続ける難しい社会情勢ではありますが、としまち研会員の皆さまにご協力いただきながら、力を合わせて取り組んでいきたいと思っております。（としまち研理事 田辺誠史）



懇親会の様子



皆で乾杯



恒例の集合写真撮影

神田祭のお神輿をかついで

お神輿担げました！神田東松下町。40年近く神田に通っていますが初めてです。祭り囃子のBGMに掛け声、藍染めのいなせな半纏と祭り装束、鉢巻き姿のお嬢さん、芳香漂う樽酒、始まる前からわくわくです。

もう一つの楽しみ、東松下町は柳森神社の御霊を担ぐとの事。実は私、柳森神社のファンなのです。秋葉原の対岸、今はビルに囲まれています、古色蒼然としたこの神社、以前須田町に事務所があった時にしばしばお参りして境内のお狸さんや極小の池のメダカに癒されました。

さて当日、神輿は美しく、頂上の鳳凰が輝いていました。町会の皆さんの意気込みを感じました。担ぎ棒に肩を入れた瞬間、おっ、重い（汗）リードに合わせて掛け声が揃うと揺れもリズムカルになり何とも気持ちがいいものです。周囲の皆さんの掛け声や応援もとても力になります。柳森神社でお祓いを受けリフレッシュ。町内を回りながらの休憩では楽しみにしていたビールやお酒、手製のおにぎり、お弁当、またオードブルやシャンパンの差入れもいただきました。充実の2日間、名誉の筋肉痛でした（笑）。

町会の皆様、お世話になりありがとうございました。

（神田藍の会 伊藤 純一）



神輿だワッショイ

コミュニティホーム「はじまりの家 そら」見学

5月18日、NPOコミュニティケア・ホームで運営されている「はじまりの家 そら」（東久留米市）に9名で見学に伺いました。代表の富澤文絵さんはもと看護師で、病院や緩和ケア施設等で多くの方を看取られたご経験から、高齢化及び単身世帯や身寄りのない世帯の増加によって孤立化が進む社会において“最期の瞬間まで自分らしく豊かに生きる”ために在宅での医療や看取りを地域の力で支え合う活動を実践し、その拠点となる居場所をつくりたい！と物件探しをされていて、昨年春頃に相談を受けました。ご自身で歩き回り地権者にお手紙を出すなど積極的に動かれていたところ、夏頃にお知り合い経由で理想の建物とオーナーに巡り合ったと聞き、改修工事を経て今年1月に開設。そのスピードに驚きましたが、見学時に開設までの経緯をお話いただいた時、涙で言葉が詰まった富澤さんを見て、たいへんなご苦労をされて辿り着かれたことを感じました。

とても素敵な空間で木材がふんだんに使われており、あちこちに使いやすい工夫が施されています。お庭も様々な樹木を取り入れて室内からも季節が楽しめるよう設計されています。お昼ごはんには体にやさしい手づくりの定食（地域でも大人気）をいただきました。今後も運営面でご協力させていただけることなどに取り組んでいきたいと思えます。（としまち研事務局 関 真弓）



↑ 富澤さんにお話を伺う様子
室内から見た庭→



「おいらのしごと」 としまち研会員がふだんどのような仕事をしているか紹介するコーナーです。

8時10分、ここは都心の公立小学校。校長の「おはようございます」という大きな声。応える可愛い子供らの声。私も同様に挨拶。20分過ぎ、お母さんに押されて車椅子の男子、門を入り私にバトンタッチ。そして、授業終了後おばあちゃんへ。彼の学内のお世話（介助）をするのが私の仕事。

彼は進行性の筋肉萎縮症という難病をかかえる。見守るため教室の後に陣取り必要なフォローを行う。マイペースの彼、スケジュールを優先したいので、毎日、口喧嘩（笑）。

半世紀前の小学生には驚くことばかり。一番驚いたのは職員室に「怒鳴る」ことを禁止する張紙。教室内が騒がしくても先生は静かにすることを指導する。怒鳴ったりしたら退場かな。

高齢者となり子どもと関わりたいと思いこの仕事をする事になったものの、そろそろ終了。今後も子供たちからパワーを貰える仕事を考える今日この頃です。 神中 力（前職：全国市街地再開発協会）

としまち研掲示板

▼ 2023年度マンション再生連続勉強会▼

今年度は「マンションが築50年を迎えたら」をテーマに設定しました。6月8日(木)に第1回を開催し、「建替えの視点からマンション管理について考える」と題して大木祐悟さん(としまち研理事)にお話してもらいました。約40名の方にご参加いただき、予想以上に関心の高いことがわかりました。会場+オンラインで開催します。どなたでも大歓迎です。ぜひご参加ください！

【第2回】

日時：7月13日(木) 18:30~20:00 予定
会場：としまち研会議室+オンライン
話題提供：成田 至弘 さん(としまち研理事)
「年代によるマンションの各種仕様と修繕方法」

▼ としまち研 部会などの開催予定 ▼

Table with 2 columns: Department Name and Date/Time. Rows include: コーポラティブハウス部会 (6/21), マンション再生部会 (6/19), 人と暮らし部会 (6/19), 総務広報部会 (6/19), としまち研理事会 (未定).

※部会やイベント等につきましては、としまち研の会員メーリングリストで配信される案内をご確認ください。

▼ 法人所有の展開に関する勉強会 ▼

区分所有法制度について様々な課題が取り上げられる中、長谷川 洋氏(国土技術政策総合研究所)より“法人所有方式”について話題提供いただき、4月20日(木)にキックオフとなる1回目の勉強会を開催しました。会場・リモート共に多くの方が参加、活発な質疑応答に発展しました。

第2回は6月9日(金)に開催し、江国智洋氏(株象地域設計)より築40年程のコーポラティブハウスで現在高齢化・居住者減少などに伴い発生している課題について説明していただき、解決方策について話し合われました。

関心をお持ちの方は、としまち研事務局までご連絡ください。

【第3回】

日時：7月14日(金) 19:00~21:00 予定
会場：としまち研会議室+オンライン

※話題提供者のご都合により日程等が変更になる場合もあります。ご了承ください。

会議の様子



▼ 「那須まちづくり広場」の視察報告 ▼

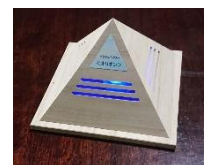
6月4日(日)に那須まちづくり広場とゆいま〜る那須へ、はとバスに乗って

日帰りで視察に行きました。詳しくは次号のおいらのまちにてご報告いたします。



□ 編集後記

23年度3回目が無事発行です。ご寄稿協力ありがとうございました。会員の皆さま、夏を迎える体の調整はうまくいっていますか?力を抜いてリラックスですよ。人は力入れ過ぎ箇所があると本来もつ自身の能力を発揮できません。気が付いた時は「深呼吸」そして家や仕事場の周りで「貴方と呼んでる木」を見つけ対話しましょう!エネルギーが正常化します。



*右は私設計のピラミッド。キリ材底辺14cmでギザ実物と同比率縮小、5交点から等距離交点に生ずるパワーを貴方へ送信!諏訪

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町33 COMS HOUSE 2階
TEL: 03-5207-6277 FAX: 03-5294-7326
E-mail: info@tmk-web.com ホームページ: https://www.tmk-web.com/
Facebook: https://www.facebook.com/toshimachiken/
皆さまからのご意見、ご感想をお待ちしております。

としまち研の現在の会員数
正会員50名 賛助会員23名
編集発行人 五十嵐 一博
事務局担当 諏訪 恵里子

